



諸遊 議員

海外出張は必要？

町長 評価している

【諸遊】町長が迎えた大山恵みの里公社の専務理事が3月で退職するが、実績と評価は。専務は平成23年度に6回、合計69日間に

台湾とシンガポールに出張し、その費用の250万円は公社から支出しているが妥当か。成果はあったのか。

【町長】販路開拓、品質向上、組織体質の強化などに貢献してもらった。

海外出張は、平成22年度に日本貿易振興機構から、台湾への物産展示会・即売会の声をかけてもらった。PR販売促進広告などの予算を計



加工品の販売先は…（農産加工施設）

上し、評議員会と理事会にも承認をもらった。

国内の販売戦略と同じスタンスで海外への取り組みも進めている。

【諸遊】公社の農産加工施設を民間業者へ指定管理に出す考えはないか。

【町長】他の事業者の方が効果的であるとすれば、計画の見直しを行って委託先の変更ということになる。

ハコモノは必要か？

町長 にぎわいのあるまちにするため

【諸遊】山香荘のサッカー場建設は約2年審議をして、昨年9月議会で可決された。まだサッカー場は完成しておらず、利用者数も不明のなかで「食の魅力の館（仮称）」建設計画は時期尚早と思う。

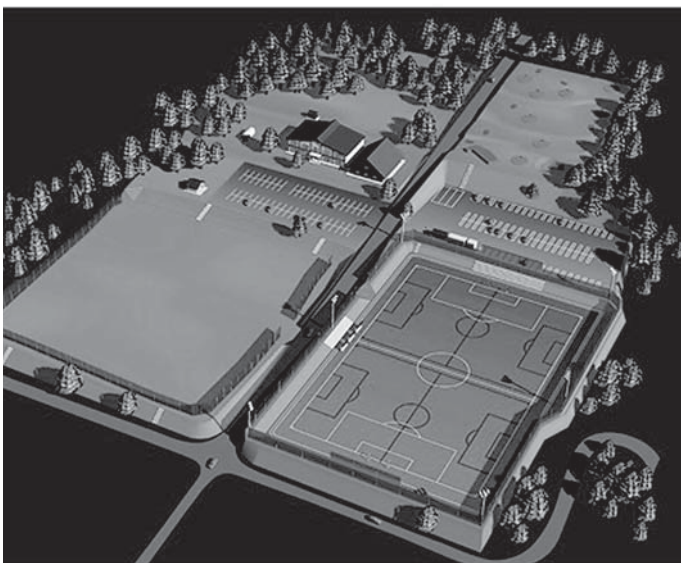
内容と規模、町の財政負担はどう考えているのか。

町の人口は年々減少し、20年後は1万2000人で老人化率44%と予測される。国保に使う金額が毎年1億円ずつ増加し、平成23年度は24億円である。また介護保険も25%の増加で4月から月額5490円となる。

ハコモノは不要と考える。

【町長】事業費は「食と地域の交流促進事業」と「過疎債ソフト事業」を財源としている。

施設建設が必要となった場合は辺地債などを活用し、事業者に使用料の負担を求め、高齢化が進むが、暮らしやすいにぎわいのある元気な町にしたい。



山香荘の完成イメージ